

コニカミノルタ

magicolorが実現する Macビジネス快適術

第三回 フォトグラファー 竹澤宏氏

竹澤宏氏は、『Mac Fan』をはじめとする多数の雑誌や広告など、主に商用印刷物向けの写真を手がけるプロフォトグラファー。DTP黎明期よりMacを導入してデジタルワークフローを構築しながら、意図したとおり写真を仕上げることに取り組んできた。そんな竹澤氏は、どのように「magicolor 5570」を活用しているのだろうか。



文●矢澤哲 写真●黒田彰

プロフォトグラファーが求める プリントの色の確かさ

竹澤宏氏は、雑誌の表紙や記事、さらに宣伝用ポスターや広告、カタログなどの商用印刷物向けの写真撮影をメインに活躍するプロフォトグラファーだ。このジャンルは、シビアな色再現が要求されるため、写真の印刷仕上がりを常にチェックしなければならない。撮影した写真は、「アドビ・フォトショップ」などで納品データとして仕上げる。納品先によっては、CMYK分解したEPSファイルを要求されることもあり、その場合、カラープロファイルを添付して納品する。「現在はほとんどデータで納品しています。この時一緒に、印刷時の参考になるように色見本用のプリントを渡しています」



風景から商品、人物撮影まで竹澤氏の活動の幅は広い。もちろん写真の色に對するこだわりも強い。

写真を納品する時、プリントによる色見本をデータに添付することが不可欠になるが、以前の竹澤氏は、一般家庭向けインクジェットプリンタでプリントしていた。だが、インクジェットプリンタは一見きれいな仕上がりになる半面、オフセット印刷では表現できない色をたくさん含んでいる。印刷の現場では、「インクジェットプリンタの見本は印刷とは別物」という意識があり、竹澤氏も色見本と印刷物の色再現の不一致に悩んでいた。

「その点、レーザープリンタはオフセット印刷に近いイメージでプリントできます。だから色見本として印刷会社に渡した時に、私の意図を印刷会社も理解しやすいようです。おかげで、クライアントも安心して仕事を依頼してくれているようです」

今では、色見本と印刷仕上がりととのギャップに悩むことが少なくなったという。

フリーランスの活動を支える マジカラー5570の多彩な機能

そんな竹澤氏が選んだレーザープリンタが、ポストスクリプト3に対応したA4カラープリンタ「マジカラー(magicolor)5570」だ。ともすると、ヌケの悪いくすんだ色味になりがちなレーザープリンタの中にあつて、マジカラー5570の鮮やかな発色と、きめ細かい高精細な仕上がりは、写真プリントに最適と感じたからだ。実際、オフセット印刷に近い仕上がりが、大変気に入っているという。

竹澤氏は、実際導入してみても家庭向けインクジェットプリンタと、プロ用カラーレーザープリンタの違いを実感している。それはプリント品質の安定性だ。

家庭向けインクジェットプリンタで大量にプリントしていると、微妙な色の変化に気づくことがある。さらに、インクジェットプリンタは、インクが完全に乾いて色味が安定するまでに、1日以上かかることもあり、急ぎの仕事では信頼性に欠けることがある。

P r o f i l e

竹澤宏

フォトグラファー。高島屋、三井不動産、INAXなどの広告関連、『Mac Fan』『コマーシャルフォト』など数多くの雑誌・書籍の写真を手がける。また、デジタルカメラに関する記事執筆も行う。



一方、マジカラー5570は、大量にプリントしても色味が安定しているので、安心して使い続けることができる。しかも、マジカラー5570の「デジタルトナーHD」は、プリント直後から色味の変化がほとんどなく、印刷の色見本として、プリント後すぐにクライアントに渡すことができる。

さらに、フリーランスの写真家にとって、柔軟性や経済性、印字速度も重要になる。

「普通紙へのプリントがきれいな点もいいですね。プリント速度も速いです。カメラマンは一度にたくさんプリントすることは少ないですが、雑誌の仕事のように時間に追われている時、ストレスを感じずにプリントできる速度は、とてもありがたいですね」

ほかにも、メンテナンスの容易さ、プリンタ本体にデジタルカメラをつないでダイレクトプリントできるピクトブリッジ機能、フリーランスにとって必須の事務書類用の封筒やハガキといった用紙への対応など、竹澤氏はマジカラーのメリットを次々に列挙した。

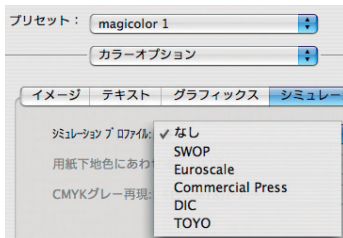
色見本のプリントから事務処理、営業ツールの作成まで、マルチに使えるマジカラー5570は、今や竹澤氏にとって欠かすことのできない大事なパートナーとなっている。

竹澤氏も
納得!

プロの仕事に必要な、
マジカラの機能

写真のプリントに
妥協は許されない!

オフセット印刷に近く
高画質な仕上がりに



インクシミュレーション機能はプリンタドライバで選択するだけ。これだけで指定したインクによる仕上がりに限りなく近くプリントされる。



コニカミノルタ独自の次世代プリントテクノロジー「エンペロン」を搭載。

フォトグラファを満足させた美しい正確なプリント品質は、マジカラ独自のプリントテクノロジー「エンペロン(Emperon)」と、新開発のデジタルトナーHDによって生み出される。デジタルトナーHDは、従来以上に粒子が小さく、しかも均等に揃っている。これが、マジカラの高精度で階調豊かな写真プリントを実現している。加えて、プリンタ内部のセンサが中間転写ベルト上のトナー濃度を自動検出して最適な濃度を維持しているため、ハイライトからシャドウまで安定した色再現が可能だ。

また、マジカラ5570は、印刷業界標準の「JAPAN COLOR 2001」に近い発色をするので、実印刷に近い仕上がりが期待できる。インクシミュレーション出力機能を使えば、「TOYO(東洋インキ)」や「DIC(大日本インキ化学工業)」などの校正プリントも可能だ。

さらに、トナーの付着量を1.25倍にして暗部の色再現を豊かに仕上げる「高光沢モード」を搭載。印刷媒体向けの写真を手がけるプロユーザが十分に活用できるプリンタだ。

ピクトブリッジ対応の
高速カラープリントを実現

時間に追われている時も
ストレスなくプリントしたい!



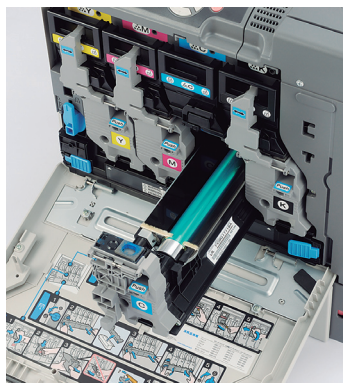
ピクトブリッジ対応のデジタルカメラやUSBメモリから直接印刷できる。マジカラ5570は高性能レーザープリンタでありながら、手軽さも併せ持っている。

マジカラ5570は、高速な4連タンデムエンジンを採用しており、カラー/モノクロに関わらず、高速にプリントできる。CPUにはPowerPC G4 866MHzを搭載。加えて、独自の画像処理チップ(ASIC)を2基搭載することで、高速なデータ処理を実現している。インターフェイスは、ギガビットイーサネットを標準で装備しており、容量が大きくならない写真などのグラフィックスを多用したポストスクリプトデータでも、ストレスなくプリンタへ送ることができる。

おかげで、プリント速度はカラー毎分30枚、モノクロ毎分35枚(それぞれA4縦)を実現。A4カラーポストスクリプト対応プリンタとしては、最高速クラスのプリントが行えるわけだ。また、ピクトブリッジ規格によるカメラドライレクトプリント機能を搭載。プリンタ操作パネルすぐ横に配置されたUSBポートにデジタルカメラを接続して、写真画像をそのまま印刷できる。さらに、USBメモリアイレクトプリント機能も搭載。ポートにUSBメモリを直接装着して、メモリ内の画像やPDFドキュメントをプリントできる。撮影から帰って慌ただしい時PCを起ち上げていない時、メモリを挿すだけで待たずにプリントできる手軽さはうれしい。

場所も用途も手間要らずの
オールマイティプリンタ

経済性やメンテナンス性も
フリーランスには特に重要!



トナーの入れ替えは、前面から行う。カバーを開けるだけで、周りに広いスペースは必要ない。

フリーランスのフォトグラファにとって、用途に応じて何台もプリンタを所有するのは、スペースの面でも、コスト面でも好ましくない。当然、可能な限り、1台のプリンタですべての作業を済ませたいと考えることになる。

その点、マジカラは普通紙から厚紙、ハガキ、封筒まで、さまざまな紙質、厚さに対応しており、用途を選ばない。写真プリントのほか、請求書や案内状など、日常業務のさまざまな用途に利用できて無駄がない。

しかも、家庭用インクジェットプリンタに比べ、はるかに高速。一度に数十枚をプリントしてもすぐに終わるのでストレスを感じない。印字品質にこだわらないドキュメントを印刷する時は、写真やグラフィック部分のトナーを減らす「エコノミーモード」を搭載しており経済的。

レーザープリンタという点、メンテナンスに不安を感じる人もいられるかもしれない。だが、マジカラ内部はシンプルなユニットで分かれており、メンテナンスが容易に自力で行える。

しかも、マジカラ5570は、メンテナンスを行うのに広い場所を必要としない。だからプリンタの周りに広いスペースを取ることが難しいSOHOや個人事務所でも、安心して導入することができるのだ。

高速処理に優れたA4対応PS(タンデム)カラープリンタ magicolor 5570

高速印刷が可能な4連タンデム方式、ポストスクリプト3互換のA4カラーレーザープリンタ。高速CPUとデュアルASICの採用で処理スピードが一段と向上。また、「デジタルトナーHD」の採用により階調はより豊かになり、色再現性も向上した。Mac OS 9.1以降およびMac OS X 10.2~10.4のほか、ウィンドウズ、リナックス、UNIXといったマルチOSに対応する。オプションで「ステープルフィニッシャー」(ホチキス止め)が用意されている。

■ 24万8000円
■ 9600dpi相当×600dpi
■ 420(W)×526(D)×440(H)mm 約33.4Kg(消耗品含まず) ■ A4~ハガキ ■ 1000/100/10BASE-TX
イーサネット、USB2.0、IEEE1284準拠パラレルインターフェイス ■ CPU:PowerPC 866MHz /メモリ256MB(最大1024MB) /ハードディスク:40GB(オプション)



コンパクトで高性能な A4対応PSカラープリンタ magicolor 2550 ■ 13万8000円



デザイン、DTPに最適な
A3ワイド対応
PSカラープリンタ
magicolor 7450 ■ 32万8000円